

【補充資料2】単元「ちいちゃんのかげおくり」「一つの花」の指導計画（8時間扱い）

		学 習 活 動	
時	学習指導目標	3年「ちいちゃんのかげおくり」	4年「一つの花」
1	物語の概要をとらえ学習の見通しをもつことができる。	1 全文を読み、感想をもつ。 ・初発の感想を書き、発表し合う。 ・漢字の読み、語句の確認をする。 お話を読んで、感想を書こう。	1 全文を読み、感想をもつ。 ・初発の感想を書き、発表し合う。 ・漢字の読み、語句の確認をする。 お話を読んで、感想を書こう。
2 ・ 3	叙述に即して、情景や登場人物の心情を想像しながら読むことができる。	2 場面ごとに情景や人物の気持ちを読み取る (1)家族そろって「かげおくり」をするちいちゃんの気持ちを読み取る。 ちいちゃんがかげおくりをして遊ぶようになったのは、どうしてだろう。	2 場面ごとに情景や人物の気持ちを読み取る (1)戦時下の生活の様子や幼いゆみ子が「一つだけちょうだい。」を覚えた理由を読み取る。 どうして、ゆみ子の覚えた最初の言葉は、「一つだけちょうだい。」なのだろう。
4		(2)空襲の様子やひとりぼっちになってしまったちいちゃんの気持ちを読み取る。 たくさんの人たちの中でねむるちいちゃんはどんなことを思っただろう。	(2)ゆみ子の将来を心配する両親の気持ちを読み取る。 どうしてお父さんは、ゆみ子をめちゃくちゃに高い高いしたのだろう。
5		(3)はぐれた家族に会えると信じて待っているちいちゃんの気持ちを読み取る。 こわれかかったぼう空ごうの中で、一人でねむるちいちゃんはどんなことを思っただろう。	(3)父親が出征する日の家族の様子や両親の気持ちを読み取る。 お父さんが戦争に行く日、お母さんとお父さんはそれぞれどんなことを思っただろう。
6		(4)たった一人でかげおくりをして家族に会えたちいちゃんの気持ちを読み取る。 どうして、ちいちゃんは、きらきらわらいながら花畑の中を走り出したのだろう。	(4)一輪のコスモスの花にこめられた父親の願いを読み取る。 どうしてお父さんは、一輪のコスモスの花をあげたのだろう。
7		(5)1～4の場面と5の場面を比べながら読み、平和な暮らしの様子を読み取る。 もしも戦争がなかったら、ちいちゃんはどのようにしているだろう。	(5)お母さんを助け、平和に暮らすゆみ子の様子を読み取る。 ゆみ子はどんな子に育っただろう。
8	学習を振り返り自分の学びを文章で書くことができる。	(6)学習のまとめをする。 ・学習を振り返り、この物語を読んで考えたことや学習したことなどを盛り込み、主人公宛に手紙を書く。 ちいちゃんへ手紙を書こう。	(6)学習のまとめをする。 ・学習を振り返り、この物語を読んで考えたことや学習したことなどを盛り込み、主人公宛に手紙を書く。 ゆみ子へ手紙を書こう。

# 【補充資料3】第3・4学年複式国語科学習指導展開案

(1の場面 / 2・3時)

(1)3年の目標

・家族そろって「かけおくり」をするちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。

(1)4年の目標

・戦時下の生活の様子や幼いゆみ子が「一つだけちょうだい。」を覚えた理由を読み取ることができる。

3年		4年					
段階	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	学習活動(主な発問・指示)	形態	学習活動(主な発問・指示)	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	段階	
とらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>課題について考えながら読むように指示する。</li> <li>板書を基にキーワードに赤線を引かせ、どの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく</li> <li>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>教師と一緒に、キーワードに赤線を引いていく。</li> </ul> <p><b>読み取りの観点とキーワード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出征前日の家族とかけおくりの様子 「かけおくり」「お父さん」「出征する前日」 「先祖のはかまいり」「青い空」「つばやき」 「かけおくりのよくてきそう空」「こどものとき」 「四人は手をつなぎ」「白い四つのかけぼうし」「すごうい」 「記ねん写真」</li> <li>お父さんの出征とその後の家族の様子 「白いたすき」「日の丸のはた」「列車に」 「体の弱いお父さん」「ぼつん」「いろいろなかげおくり」 「いくさがはげしく」「しょういだん」「ばくだん」 「とても楽しいところ」「とてもこわい所」</li> </ul>	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の準備や新出漢字・語句の練習をする。</li> <li>次の作業を行っておく。</li> <li>学習課題をノートに書く。</li> <li>本時の学習場面を黙読する。</li> <li>漢字・語句の練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>次の直接指導に速やかに入れるように準備させておく。</li> <li>個人学習できるように指示しておく。</li> </ul>	ふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</li> </ul> <p>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> </ul> <p><b>考えをもつ手順</b></p> <p>赤線のほかにも大切だと思った言葉には波線を引く。学習課題に対する考えをノートに書く。</p> <p>ノート上段の教材文から考えの理由になるキーワードを見つけ下段の考えと線をつなぐ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学習課題を確認する ちいちゃんがかげおくりをして遊ぶようになったのはどうしてだろう。</li> <li>2. 学習場面を音読する 一の場面を読む。</li> <li>3. 場面の内容を読み取る 教師といっしょに、内容を読み取る。 大事な言葉に線をひこう。</li> </ul>	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 学習課題を確認する どうして、ゆみ子の覚えた最初の言葉は、「一つだけちょうだい。」なのだろう。</li> <li>3. 学習場面を音読する 一の場面を読む。</li> <li>4. 場面の内容を読み取る 教師といっしょに、内容を読み取る。 大事な言葉に線をひこう。</li> </ul> <p><b>読み取りの観点とキーワード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦争中の生活の様子 「戦争のはげしかったころ」「そんな物」 「どこへ行ってもありません」「配給」「おいも」「豆」 「かぼちゃ」「毎日」「てきの飛行機」「ばくだん」 「次々に焼かれて」「はい」</li> <li>ゆみ子が最初の言葉を覚えた理由 「いつもおなかをすかして」「いくらでもほしがる」 「一つだけよ」「自分の分から一つ」「一つだけ」 「お母さんの口ぐせ」「知らず知らずのうちに」 「口ぐせを覚えて」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>課題について考えながら読むように指示する。</li> <li>板書をもとにキーワードに赤線を引かせどの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</li> </ul> <p>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</li> <li>他人と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</li> <li>考えの違いを児童だけで見つけられない場合には、教師も話し合いに加わり助言する。</li> <li>児童の考えが類似している場合には、根拠となる言葉や文も同じなのか、ほかには、この考えの根拠になっている言葉はないのか、考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述を基に考えを比べ合う。</li> </ul> <p><b>比べる観点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えの同じところ、違うところはどこか。</li> <li>それぞれの考えの理由になっているキーワードは何か。</li> </ul> <p><b>比べる手順</b></p> <p>友達の考えを聞いて、自分の考えと照らし合わせる。もし、友達のノートに波線が引いてあれば自分のノートにも青線を引く。考えの同じところや違うところを見つけて、同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 考えを比べる 友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする 自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところ見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</li> </ul> <p>話し合いの進め方(例)</p> <p>くんは、先に聞かせて。次は、ぼくの考えを話さよ。考えをくらべてみよう。</p> <p>くんは、～に線を引いたんだね。</p> <p>くんは、～に引いたんだね。くんと、ぼくの考えは、少しにているね。キーワードは、これとこれが同じだね。でも、このキーワードはちがうね。どうして、このキーワードをえらんだの？</p> <p>くんの考えは、ぼくの考えとどこがちがっているね。これはどのキーワードから～と考えたの？</p> <p>それはね。このキーワードから～だと思ったんだよ。</p>	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 課題に対する自分の考えをもつ 読み取りを基に最初の言葉を覚えた理由を考え、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。</li> <li>みんなの考えをノートに書いてみよう。</li> </ul> <p><b>予想される児童の反応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お母さんが、いつも「一つだけ。一つだけ。」と言っていたから。</li> <li>一つだけだったら、もらえと思ったから。</li> <li>お母さんの口ぐせを覚えてしまったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> </ul> <p><b>考えをもつ手順</b></p> <p>赤線のほかにも大切だと思った言葉には波線を引く。学習課題に対する考えをノートに書く。</p> <p>ノート上段の教材文から考えの理由になるキーワードを見つけ下段の考えと線をつなぐ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</li> <li>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</li> </ul>	ふりかえる
<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを広げ深めることができるように、考えを見直すための観点を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに見直した考えを記述する。</li> </ul> <p><b>見直しの観点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えで足りないところはどこか。</li> <li>友達の考えを聞いて、さらに考えてみたいと思ったところはどこか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6. 考えを見直す 学習を振り返り、学んだ読み方をまとめる。</li> </ul> <p><b>予想される児童の見直した考え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦争に行ったお父さんが教えてくれた遊びだし、家族4人で遊んだ最後の遊びだから、お父さんの思い出が詰まっている大事な遊びだから。</li> <li>かけおくりをすると、戦争に行ったお父さんとの楽しい日を思い出すことができる。</li> <li>4人でかけおくりをしたことは、お父さんとお母さんが記念写真と言っていたので、家族がみんなそろった最後の思い出だから。</li> </ul>	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>6. 考えを比べる 友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする</li> </ul> <p>自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところ見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</p> <p>話し合いの進め方(例)</p> <p>くんの考えを先に聞かせて。次は、ぼくの考えを話さよ。考えをくらべてみよう。</p> <p>くんは、～に線を引いたんだね。</p> <p>くんは、～に引いたんだね。くんと、ぼくの考えは、少しにているね。キーワードは、これとこれが同じだね。でも、このキーワードはちがうね。どうして、このキーワードをえらんだの？</p> <p>くんの考えは、ぼくの考えとどこがちがっているね。どのキーワードから～と考えたの？</p> <p>それはね。このキーワードから～だと思ったんだよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述を基に考えを比べ合う。</li> </ul> <p><b>比べる観点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えの同じところ、違うところはどこか。</li> <li>お互いの考えの理由になっているキーワードは何か。</li> </ul> <p><b>比べる手順</b></p> <p>友達の考えを聞いて、自分の考えと照らし合わせる。もし、友達のノートに波線が引いてあれば自分のノートにも青線を引く。考えの同じところや違うところを見つけて、同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。友達の考えで大事なことをメモする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</li> <li>友達と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</li> <li>児童の考えに共通点がある場合には、なぜ同じになったのか他には、この考えの根拠となる言葉がないのかなどを考えさせる。</li> <li>相違点については、違いの理由が何に基づいているのか、根拠になる言葉や文から気付かせる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>最後に課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際、今日の学習を振り返るとともに友達の考えを聞いて、自分の考えに取り入れたいと思ったことや学習をとおして、さらに考えたことなどを加えて、学習のまとめをさせる。</li> </ul>							



( 2 の場面 / 4 時 )

3 年の目標

・空襲の様子やひとりぼっちになってしまったちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。

4 年の目標

・ゆみ子の将来を心配する両親の気持ちを読み取ることができる。

段階	3 年			4 年			段階
	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	ノートの活用	学 習 活 動 ( 主な発問・指示 )	形態	学 習 活 動 ( 主な発問・指示 )	ノートの活用	
とらえる	<p>・学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>・課題について考えながら読むように指示する。</p> <p>・板書を基にキーワードに赤線を引かせ、どの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</p> <p>・板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</p> <p>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</p>	<p>・学習課題を書く。</p> <p>・教師と一緒に、キーワードに赤線を引いていく。</p> <p><b>読み取りの観点とキーワード</b></p> <p>・空襲の様子 「空襲警報」「サイレン」「赤い火」「あちこちに」「風の強い日」「だれかがさげんで」「風があつく」「ほのおのうず」「おいかけて」「だき上げて走り」「ひどいけが」「おいぬかれたり、ぶつかったり」</p> <p>・ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ち 「お母ちゃん、お母ちゃん」「ちいちゃんはさげび」「お母さんらしき人」「お母ちゃん」「ちいちゃんがさげぶと」「お母さんではありません」「たくさんの人たちの中で」</p>	<p>1. 学習課題を確認する</p> <p>たくさんの人たちの中でねむるちいちゃんは、どんなことを思っただろう。</p> <p>2. 学習場面を音読する</p> <p>・二の場面を読む。</p> <p>3. 場面の内容を読み取る</p> <p>・教師といっしょに、内容を読み取る。大事な言葉に線をひこう。</p>	間接	<p>1. 考えを見直す</p> <p>・前時学習をノートの記述から想起する。</p> <p>・前時の学習で学んだ読み方をまとめる。</p> <p>・本時の学習場面を讀んだり、学習課題について考えたり、準備をする。</p> <p><b>予想される児童の見直した考え</b></p> <p>・戦争がはげしかったから、食べるものはほとんどなかった。だから、おなかをすかせたゆみ子にほんとうは、たくさん食べさせたかったんだけど、できなかった。それでも、お母さんは、自分の分からゆみ子にあげていた。それでも、いつも一つしかあげることができず、それが、お母さんの口ぐせになってしまい、ゆみ子がそれを覚えてしまった。</p>	<p>・ノートに見直した考えを記述する。</p> <p><b>見直しの観点</b></p> <p>・自分の考えで足りないところはどこか。</p> <p>・友達の考えを聞いて、さらに考えてみたいと思ったところはどこか。</p>	<p>・前時の学習を十分想起させ、考えを見直すための観点を示す</p> <p>・前時の課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際前時の学習を振り返るとともに友達の考えを聞いて自分の考えに取り入れたいと思ったことや学習を通してさらに考えたことなどを加えて、学習のまとめをさせる。</p>
	<p>・間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</p> <p>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</p>	<p>・手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</p> <p><b>考えをもつ手順</b></p> <p>赤線のほかにも大切な言葉には波線を引く。</p> <p>学習課題に対する考えをノートに書く。ノート上段の教材文から考えの理由になるキーワードを見つけ、下段の考えと線がつながる。</p>	<p>4. 課題に対する自分の考えをもつ</p> <p>・読み取りを基にちいちゃんの気持ちと考え、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。</p> <p>みんなの考えをノートに書いてみよう。</p> <p><b>予想される児童の考え</b></p> <p>・ひとりぼっちでさびしいよ。お母ちゃん、お兄ちゃん、どこにいるの。</p> <p>・お母ちゃん、わたしだけを置いてどこに行ったの。早くむかえに来てちょうだい。</p>	間接	<p>2. 学習課題を確認する</p> <p>お父さんは、ゆみ子をめちゃくちゃに高い高いしながら、どんなことを思っただろう。</p> <p>3. 学習場面を音読する</p> <p>・二の場面を読む。</p> <p>4. 場面の内容を読み取る</p> <p>・教師といっしょに、内容を読み取る。大事な言葉に線をひこう。</p> <p><b>読み取りの観点とキーワード</b></p> <p>・ゆみ子の将来を心配する両親の気持ち 「なんてかわいそうな子」「なんでももらえと思ってる」「深いため息」「一生」「みんなちょうだい」「山ほどちょうだい」「両手を出すことを知らずに」「みんな一つだけ」「一つだけの喜び」「一つだってもらえないかも」「どんな子に育つだろう」</p>	<p>・学習課題を書く。</p> <p>・教師と一緒にキーワードに赤線を引いていく。</p>	<p>・学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>・課題について考えながら読むように指示する。</p> <p>・板書をもとにキーワードに赤線を引かせどの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</p> <p>・板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</p> <p>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</p>
ふりがえる	<p>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</p> <p>他人と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</p> <p>・考えの違いを児童だけで見つけられない場合には、教師も話し合いに加わり助言する。</p> <p>・児童の考えが類似している場合には、根拠となる言葉も同じなのが、ほかには、この考えの根拠になっている言葉はないのか、考えさせる。</p>	<p>・ノートの記述を基に考えを比べ合う。</p> <p><b>比べる観点</b></p> <p>・考えの同じところ、違うところはどこか。</p> <p>・それぞれの考えの理由になっているキーワードは何か。</p> <p><b>比べる手順</b></p> <p>友達の考えを聞いて自分の考えと照らし合わせる。</p> <p>もし、友達のノートに波線が引いてあれば自分のノートにも青線を引く。</p> <p>考えの同じところや違うところを見つける。</p> <p>同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。</p>	<p>5. 考えを比べる</p> <p>・友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする</p> <p>自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところを見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</p> <p><b>話し合いの進め方(例)</b></p> <p>くんの考えを先に聞かせて。次は、ぼくの考えを話そう。考えをくらべてみよう。</p> <p>くんは、～に線を引いたんだね。</p> <p>くんは、～に引いたんだね。</p> <p>くんと、ぼくの考えは、これとこれが同じだね。でも、このキーワードはちがうね。どうして、このキーワードをえらんだの？</p> <p>くんの考えは、ぼくの考えとここがちがっているね。これはどのキーワードから～と考えたの？</p> <p>それはね。このキーワードから～だと思ったんだよ。</p>	間接	<p>5. 課題に対する自分の考えをもつ</p> <p>・読み取りを基にお父さんの気持ちを考え、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。</p> <p>みんなの考えをノートに書いてみよう。</p> <p><b>予想される児童の考え</b></p> <p>・ゆみ子が大きくなって、どんな子に育つか心配だ。</p> <p>・この子は、一生、みんなちょうだい、山ほどちょうだいと言って、両手を出すことを知らずにすすずかもしれない。</p>	<p>・手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</p> <p><b>考えをもつ手順</b></p> <p>赤線のほかにも大切な言葉には波線を引く。</p> <p>学習課題に対する考えをノートに書く。ノート上段の教材文から考えの理由になるキーワードを見つけ、下段の考えと線がつながる。</p>	<p>・間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</p> <p>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</p>
	<p>考えを広げ深めることができるように、考えを見直すための観点を示す。</p> <p>最後に課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際、今日の学習を振り返るとともに友達の考えを聞いて、自分の考えに取り入れたいと思ったことや学習をとおして、さらに考えたことなどを加えて、学習のまとめをさせる。</p>	<p>・ノートに見直した考えを記述する。</p> <p><b>見直しの観点</b></p> <p>・自分の考えで足りないところはどこか。</p> <p>・友達の考えを聞いて、さらに考えてみたいと思ったところはどこか。</p>	<p>6. 考えを見直す</p> <p>・学習を振り返り、学んだ読み方をまとめる。</p> <p><b>予想される児童の見直した考え</b></p> <p>・さっきの人がお母ちゃんだったらよかったの。お母ちゃん、お兄ちゃん、いつかどこにいったの。ひとりぼっちでさびしいよ。</p> <p>・お母ちゃんは、後から来るって、おじさんが言った。だから明日になれば、きっと会えると思う。</p>	間接	<p>6. 考えを比べる</p> <p>・友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする</p> <p>自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところを見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</p> <p><b>話し合いの進め方(例)</b></p> <p>くんの考えを先に聞かせて。次は、ぼくの考えを話そう。考えをくらべてみよう。</p> <p>くんは、～に線を引いたんだね。</p> <p>くんは、～に引いたんだね。</p> <p>くんと、ぼくの考えは、少しにているね。キーワードは、これとこれが同じだね。でも、このキーワードはちがうね。どうして、このキーワードをえらんだの？</p> <p>くんの考えは、ぼくの考えとここがちがっているね。どのキーワードから～と考えたの？</p> <p>それはね。このキーワードから～だと思ったんだよ。</p>	<p>・ノートの記述を基に考えを比べ合う。</p> <p><b>比べる観点</b></p> <p>・考えの同じところ違うところはどこか。</p> <p>・お互いの考えの理由になっているキーワードは何か。</p> <p><b>比べる手順</b></p> <p>友達の考えを聞いて、自分の考えと照らし合わせる。</p> <p>もし、友達のノートに波線が引いてあれば自分のノートにも青線を引く。</p> <p>考えの同じところや違うところを見つける。</p> <p>同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。</p> <p>友達の考えで大事だと思ったことをメモする。</p>	<p>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</p> <p>友達と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</p> <p>・児童の考えに共通点がある場合には、なぜ同じになったのか他には、この考えの根拠となる言葉がないのかなどを考えさせる。</p> <p>・相違点については、違いの理由が何に基づいているのか、根拠になる言葉や文から気付かせる。</p>



(3の場面 / 5時)

(1)3年の目標

・はぐれた家族に会えると信じて待っているちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。

(1)4年の目標

・父親が出発する日の家族の様子や両親の気持ちを読み取ることができる。

3年		4年					
段階	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	学習活動(主な発問・指示)	形態	学習活動(主な発問・指示)	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	段階	
とらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>課題について考えながら読むように指示する。</li> <li>板書を基にキーワードに赤線を引かせ、どの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</li> <li>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>キーワードに赤線を引いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学習課題を確認する こわれかかったぼう空ごうの中で、一人だねむるちいちゃんはどうなことを思っただろう。</li> <li>2. 学習場面を音読する ・四の場面を読む。</li> <li>3. 場面の内容を読み取る ・教師といっしょに、内容を読み取る。大事な言葉に線をひこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 考えを見直す ・前時学習をノートの記述から想起する ・前時の学習で学んだ読み方をまとめる ・本時の学習場面を読んだり、学習課題について考えたり、準備をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに見直した考えを記述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を十分想起させ、考えを見直すための観点を示す</li> <li>前時の課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際前時の学習を振り返るとともに友達を考えを聞いて自分の考えに取り入れたい思ったことや学習を通してさらに考えたことなど、もう一度学習課題について考えさせる</li> </ul>	ふりかえる
	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</li> </ul> <p>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. 課題に対する自分の考えをもつ ・読み取りを基にちいちゃんの気持ちを考えて、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 学習課題を確認する お父さんが戦争に行く日、お母さんとお父さんは、それぞれどんなことを思っただろう。</li> <li>3. 学習場面を音読する ・四の場面を読む。</li> <li>4. 場面の内容を読み取る ・教師といっしょに、内容を読み取る。大事な言葉に線をひこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>キーワードに赤線を引いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>課題について考えながら読むように指示する。</li> <li>板書をもとにキーワードに赤線を引かせどの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</li> <li>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</li> </ul>	
ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</li> <li>他人と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</li> <li>考えの違いを児童だけで見つけられない場合には、教師も話し合いに加わり助言する。</li> <li>児童の考えが類似している場合には、根拠となる言葉や文も同じなのか、ほかには、この考えの根拠になっている言葉はないのか、考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述を基に考えを比べ合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 考えを比べる ・友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする 自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところを見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 課題に対する自分の考えをもつ ・読み取りを基にちいちゃんの気持ちを考えて、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。 みんなの考えをノートに書いてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> </ul>	ふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「比べる観点」 ・考えの同じところ、違うところはどこか ・それぞれの考えの理由になっているキーワードは何か。</li> <li>「比べる手順」 友達の考えを聞いて、自分の考えと照らし合わせる。もし、友達のノートに波線が引いてあれば、自分のノートにも青線を引く。考えの同じところや違うところを見つける。同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「予想される児童の考え」 ・お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。だからここで待たせていよう。 ・おながすいたし、こわいよ。お母ちゃん、早く帰ってきて。 ・みんなの家が焼けてしまった。あたたしたちの部屋もなくなってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「予想される児童の考え」 お母さん ・戦争に行く日なのに、お父さんにゆみ子の泣き顔を見せたくない。しかたがないから、おにぎりをゆみ子にあげてしまおう。 お父さん ・もうゆみ子に会えないかもしれない。 ・戦争に行きたくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「比べる観点」 ・考えの同じところ、違うところはどこか。 ・お互いの考えの理由になっているキーワードは何か。</li> <li>「比べる手順」 友達の考えを聞いて、自分の考えと照らし合わせる。もし、友達のノートに波線が引いてあれば自分のノートにも青線を引く。考えの同じところや違うところを見つける。同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。友達の考えで大事なと思ったことをメモする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</li> <li>友達と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</li> <li>児童の考えに共通点がある場合には、なぜ同じになったのか他には、この考えの根拠となる言葉がないのかなどを考えさせる。</li> <li>相違点については、違いの理由が何に基づいているのか、根拠になる言葉や文から気付かせる。</li> </ul>		
ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを広げ深めることができるように、考えを見直すための観点を示す。</li> <li>最後に課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際、今日の学習を振り返るとともに友達を考えを聞いて、自分の考えに取り入れたいと思ったことや学習をとおして、さらに考えたことなどを加えて、もう一度、学習課題について考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに見直した考えを記述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6. 考えを見直す ・学習を振り返り、学んだ読み方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6. 考えを見直す ・前時学習をノートの記述から想起する ・前時の学習で学んだ読み方をまとめる ・本時の学習場面を読んだり、学習課題について考えたり、準備をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見直しの観点」 ・自分の考えで足りないところはどこか。 ・友達の考えを聞いてさらに考えてみたいと思ったところはどこか。</li> </ul>	ふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見直しの観点」 ・自分の考えで足りないところはどこか。 ・友達の考えを聞いてさらに考えてみたいと思ったところはどこか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「予想される児童の見直した考え」 ・あたたしたちの家は焼けてなくなってしまったけど、お母ちゃんたちは、きっとここに帰ってくると信じてる。それまで、ずっと待ってるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見直しの観点」 ・自分の考えで足りないところはどこか。 ・友達の考えを聞いてさらに考えてみたいと思ったところはどこか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見直しの観点」 ・自分の考えで足りないところはどこか。 ・友達の考えを聞いてさらに考えてみたいと思ったところはどこか。</li> </ul>			



(4の場面 / 6時)

(1)3年の目標

・たった一人でかけおくりをして家族に会えたちいちゃんのお気持ちを読み取ることができる。

(1)4年の目標

・一輪のコスモスの花にこめられた父親の願いを読み取ることができる。

3年		4年				
段階	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	学習活動(主な発問・指示)	形態	学習活動(主な発問・指示)	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	段階
とらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>課題について考えながら読むように指示する。</li> <li>板書を基にキーワードに赤線を引かせ、どの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</li> <li>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>教師と一緒に、キーワードに赤線を引いていく。</li> <li><b>読み取りの観点とキーワード</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい環境で数日過ごしたちいちゃんの様子「明るい光」「暑いような寒いような」「ひどくのどがかわいて」「太陽は、高く上がって」「青い空からふって」</li> <li>たった一人でかけおくりをするちいちゃんの様子「ふらふらする足」「たった一つのかけぼうしを見つめ」「くつきりと白いかげが四つ」「体がすきとおって」「空にすいこまれて」</li> <li>家族にやっと会えたちいちゃんのお気持ち「空色の花鳥の中」「空の上」「おながすいて軽くなった」「わらいながら歩いて」「なあんだ」「こんな所にいた」「きらきらわらい」「走り出し」「小さな女の子の命」「空に消え」</li> </ul> </li> </ul>	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを見直す</li> <li>前時学習をノートの記述から想起する。</li> <li>前時の学習で学んだ読み方をまとめる。</li> <li>本時の学習場面を読んだり、学習課題について考えたり、準備をする。</li> <li><b>予想される児童の見直した考え</b> お母さん ・どうして、体のあまりじょうぶでない、お父さんまで戦争にいかなければならぬのだろう。もしかして、もう、お父さんは帰ってこないかもしれない。</li> <li>戦争に行くお父さんを笑顔で見送ってあげたい。だから、お父さんのために大事なお米で作ったおにぎりだけ、ゆみ子にあげてしまおう。</li> <li>お父さん ・どうして、戦争に行かなければならぬのだろう。おれが戦争に行ったら、ゆみ子はどうなってしまうのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに見直した考えを記述する。</li> <li><b>見直しの観点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えで足りないところはどこか。</li> <li>友達の考えを聞いて、さらに考えてみたいと思ったところはどこか。</li> </ul> </li> </ul>	ふりかえる
	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるようにするための手順を示す。</li> <li>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> <li><b>考えをもつ手順</b> 赤線のほかにも大切だと思った言葉には波線を引く。学習課題に対する考えをノートに書く。ノート上段の教材文から考えの理由になるキーワードを見つけ、下段の考えと線でつなぐ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. 課題に対する自分の考えをもつ</li> <li>読み取りを基にちいちゃんのお気持ちを考え、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。みんなの考えをノートに書いてみよう。</li> <li><b>予想される児童の考え</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ちいちゃんは、お母さんたちが来るのをずっと信じて待っていたのだから、やっと家族と会えたので、しあわせだと思う。</li> <li>家族に会えたのはよかったけど、ちいちゃんは、死んでしまったのだから、本当にしあわせとはいえないと思う。</li> </ul> </li> </ul>	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 学習課題を確認する</li> <li>どうしてお父さんは、コスモスの花を一輪あげたのだろう。</li> <li>3. 学習場面を音読する</li> <li>四の場面を読む。</li> <li>4. 場面の内容を読み取る</li> <li>教師といっしょに、内容を読み取る。大事な言葉に線をひこう。</li> <li><b>読み取りの観点とキーワード</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>プラトホームでのゆみ子の様子「いよいよ汽車が入ってくるというとき」「またゆみ子の」「一つだけちょうだい」「みんなおやりよ」「とうとう泣き出して」「一つだけ」</li> <li>一輪のコスモスの花をゆみ子にあげたお父さんのお気持ち「ぶいといなくなつて」「ごみすて場のような所」「わすれられたように」「コスモスの花」「一輪のコスモスの花」「ひとつだけあげよう」「一つだけのお花」「大事に」「キャッキャッ」「足をばたつかせて」「にっこり笑う」「何も言わず」「一つの花を見つめながら」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>教師と一緒にキーワードに赤線を引いていく。</li> </ul>
ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</li> <li>他人と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</li> <li>考えの違いを児童だけで見つけられない場合には、教師も話し合いに加わり助言する。</li> <li>児童の考えが類似している場合には、根拠となる言葉も同じなのか、ほかには、この考えの根拠になっている言葉はないのか、考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述を基に考えを比べ合う。</li> <li><b>比べる観点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えの同じところ、違うところはどこか。</li> <li>それぞれの考えの理由になっているキーワードは何か。</li> </ul> </li> <li><b>比べる手順</b> 友達の考えを聞いて自分の考えと照らし合わせる。もし、友達のノートに波線が引いてあれば自分のノートにも青線を引く。考えの同じところや違うところを見つける。同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。</li> </ul>	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 課題に対する自分の考えをもつ</li> <li>読み取りを基にお父さんのお気持ちを考え、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。みんなの考えをノートに書いてみよう。</li> <li><b>予想される児童の考え</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コスモスは、もっとたくさんさいていたと思う。でも、ゆみ子が、「一つだけ。一つだけ。」と言っているのだから、一つだけあげたのだと思う。</li> <li>お父さんは、コスモスをもっとたくさんあげたかったんだけど、たった一輪しかさいていなかったんだと思う。だから、かわりに一輪のコスモスにいろんな気持ちをこめてゆみ子にわたしたんだと思う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> <li><b>考えをもつ手順</b> 赤線のほかにも大切だと思った言葉には波線を引く。学習課題に対する考えをノートに書く。ノート上段の教材文から考えの理由になるキーワードを見つけ、下段の考えと線でつなぐ。</li> </ul>	とらえる
	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを広げ深めることができるように、考えを見直すための観点を示す。</li> <li>最後に課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際、今日の学習を振り返るとともに友達の考えを聞いて、自分の考えに取り入れたいと思ったことや学習をとおして、さらに考えたことなどを加えて、学習のまとめをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに見直した考えを記述する。</li> <li><b>見直しの観点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えで足りないところはどこか。</li> <li>友達の考えを聞いて、さらに考えてみたいと思ったところはどこか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6. 考えを見直す</li> <li>学習を振り返り、学んだ読み方をまとめる。</li> <li><b>予想される児童の見直した考え</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ちいちゃんは、今にも死にそうなくらい苦しかった。だから、青い空を見て、家族みんなやった楽しいかけおくりの事を思い出したんだと思う。青い空からふってきたお父さんの声やお母さんの声を聞いたら、みんながすぐそばにいるような気がして、うれしかったと思う。きつと帰ってくるとずっと信じて待っていたお母さんとお兄ちゃんだけでなく、お父さんにもやっと会えたのだから、ちいちゃんは、とてもしあわせな気持ちできらきらわらいながら走り出したのだと思う。</li> </ul> </li> </ul>	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>6. 考えを比べる</li> <li>友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする</li> <li>自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところを見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</li> <li><b>話し合いの進め方(例)</b> くんの考えを先に聞かせて。次は、ぼくの考えを話そう。くんは、～に線を引いたんだね。くんは、～に引いたんだね。くんと、ぼくの考えは、少しにているね。キーワードは、これとこれが同じだね。でも、このキーワードはちがうね。どうして、このキーワードをえらんだの？くんの考えは、ぼくの考えとここがちがっているね。これはどのキーワードから～と考えたの？それはね。このキーワードから～だと思ったんだよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述を基に考えを比べ合う。</li> <li><b>比べる観点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えの同じところ違うところはどこか。</li> <li>お互いの考えの理由になっているキーワードは何か。</li> </ul> </li> <li><b>比べる手順</b> 友達の考えを聞いて、自分の考えと照らし合わせる。もし、友達のノートに波線が引いてあれば自分のノートにも青線を引く。考えの同じところや違うところを見つける。同じ理由や違う理由をキーワードを基に話し合う。友達の考えで大事だと思ったことをメモする。</li> </ul>



(5の場面 / 7時)

3年の目標

・1～4の場面と5の場面を比べながら読み、平和な暮らしの様子を読み取ることができる。

4年の目標

・お母さんを助け、平和に暮らすゆみ子の様子を読み取ることができる。

段階	3年			4年			段階
	指導上の留意点 手だての試案による配慮事項	ノートの活用	学習活動(主な発問・指示)	形態	学習活動(主な発問・指示)	ノートの活用	
とらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>課題について考えながら読むように指示する。</li> <li>板書を基にキーワードに赤線を引かせ、どの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</li> <li>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>教師と一緒に、キーワードに赤線を引いていく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習課題を確認する もしも戦争がなかったら、ちいちゃんはどうしているだろう。</li> <li>学習場面を音読する ・五の場面を読む。</li> <li>場面の内容を読み取る ・教師といっしょに、内容を読み取る。大事な言葉に線をひこう。</li> </ol>	直接	<ol style="list-style-type: none"> <li>考えを見直す ・前時学習をノートの記述から想起する。</li> <li>前時の学習で学んだ読み方をまとめる。</li> <li>本時の学習場面を読んだり、学習課題について考えたり、準備をする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに見直した考えを記述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を十分想起させ、考えを見直すための観点を示す</li> <li>前時の課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際前時の学習を振り返るとともに友達のことを聞いて自分の考えに取り入れたい思ったことや学習を通してさらに考えたことなどを加えて、学習のまとめをさせる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</li> <li>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>課題に対する自分の考えをもつ ・読み取りを基に戦争がなかった時のちいちゃんの生活を考え、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。</li> </ol>	直接	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習課題を確認する ゆみ子は、どんな子に育つだろう。</li> <li>学習場面を音読する ・五の場面を読む。</li> <li>場面の内容を読み取る ・教師といっしょに、内容を読み取る。大事な言葉に線をひこう。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を書く。</li> <li>教師と一緒にキーワードに赤線を引いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しを持たせて、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>課題について考えながら読むように指示する。</li> <li>板書をもとにキーワードに赤線を引かせどの児童も内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>板書には線を引くだけでなく、必要に応じて心情も書き込んでいく。</li> <li>順序を表す言葉や場面の様子に着目して読み取らせるようにする。</li> </ul>
ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えをどのように比べるのか、観点や手順を具体的に示す。</li> <li>他人と考えが違っていても良いことを児童に伝える。</li> <li>考えの違いを児童だけで見つけられない場合には、教師も話し合いに加わり助言する。</li> <li>児童の考えが類似している場合には、根拠となる言葉も同じなのか、ほかには、この考えの根拠になっている言葉はないのか、考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述を基に考えを比べ合う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>考えを比べる ・友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする 自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところを見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</li> </ol>	間接	<ol style="list-style-type: none"> <li>課題に対する自分の考えをもつ ・読み取りやこれまでの学習を振り返り、平和に暮らすゆみ子がどんな子に育つのか考え、ノートに書き込むことで自分の考えをはっきり形に表す。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順にしたがって、自分の考えをノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</li> <li>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを広げ深めることができるように、考えを見直すための観点を示す。</li> <li>最後に課題に対する考えを感想もまじえて書かせる。その際、今日の学習を振り返るとともに友達の考えを聞いて、自分の考えに取り入れたいと思ったことや学習をとおして、さらに考えたことなどを加えて、学習のまとめをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに見直した考えを記述する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>考えを比べる ・友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする 自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところを見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</li> </ol>	間接	<ol style="list-style-type: none"> <li>考えを比べる ・友達と考えを交流し、共通点や相違点を明らかにする 自分の考えと友達の考えを比べて、同じところ、違うところを見つけ、そう考えた理由を話し合おう。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述を基に考えを比べ合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接指導に入る前に児童だけで学習を進められるように考えをもつための手順を示す。</li> <li>自分の考えの根拠を明確にできるようにキーワードと結び付けさせるようにする。</li> <li>児童の考えに共通点がある場合には、なぜ同じになったのか他には、この考えの根拠となる言葉がないのかなどを考えさせる。</li> <li>相違点については、違いの理由が何に基づいているのか、根拠になる言葉や文から気付かせる。</li> </ul>